

継目落ち対策用締結装置



継目落ち対策用締結装置

特 長

1. 継目まくらぎをT TやM T Tを使用せず、レール扛上が可能です。
2. H形支え継目用締結装置のタイププレート下に敷設します。
3. 対応レール：50N・40N・50PS。
4. 別売の高さ調整鉄板を挿入するだけで、15～31mm（3.2mm毎）までレール扛上が可能です。

仕 様

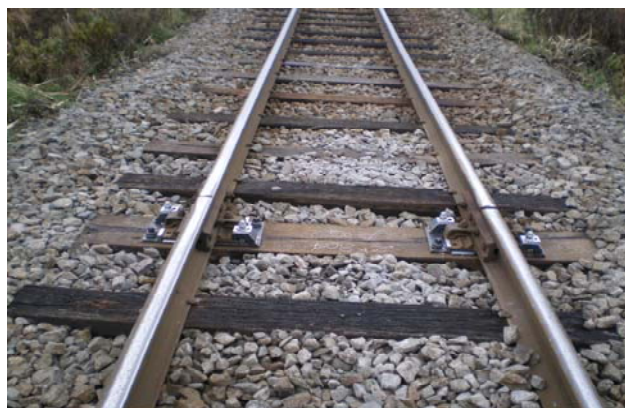
外形寸法（取付時） : W 240×L 460(mm)

重量（装置全体） : 16.7 (kg)

材質（タイププレート） : 球状黒鉛鑄鉄品

材質（クリップ・舟形座金） : 一般構造用圧延鋼材又は球状黒鉛鑄鉄品

取付可能締結装置 : H形支え継目タイププレート



使用部材

数量は1組当り

番号	名 称	数 量
①	タイププレート	1
②	クリップ	2
③	舟形座金	2
④	締結用ボルト	2
⑤	スペースロックナット	2
⑥	皿ばね座金	2
⑦	平座金	2
⑧	レール用ねじくぎ	2
⑨	ロックナットワッシャー	2
⑩	下敷パッド	1

①



②



③



⑦



④



⑧



⑤



⑨



⑥



⑩



設置手順

1. H形タイププレート支え継目
箇所、継目落ち対策前。



2. タイプレートの食い込み
が著しい場合は鉋等を用い
段差を無くします。



3. まくら木削正作業完了。



設置手順



4. H形タイプレートの犬釘を撤去。



5. 継目前後のまくらぎ数本の締結を解放。



6. H形タイプレートの板ばねは締結したままジャッキにより、対策タイプレートが挿入出来るまでレール扛上。

設置手順

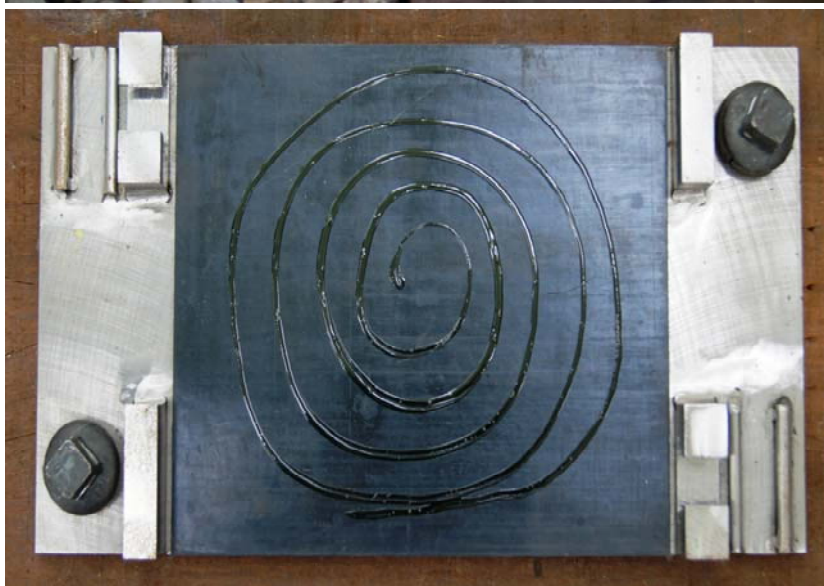
7. 対策部品を準備。



8. 下敷パッドを対策タイププレート上面にセット。

この時、下敷パッド上面に
接着剤を塗布して下さい。

理由①下敷パッドの抜け出しを防止します。②H形タイププレートと下敷パッドが一体化するので、この後の高さ調整鉄板のセットが容易に行えます。



9. 接着剤（参考）



設置手順



10. 対策タイプレートをセット。
(1)



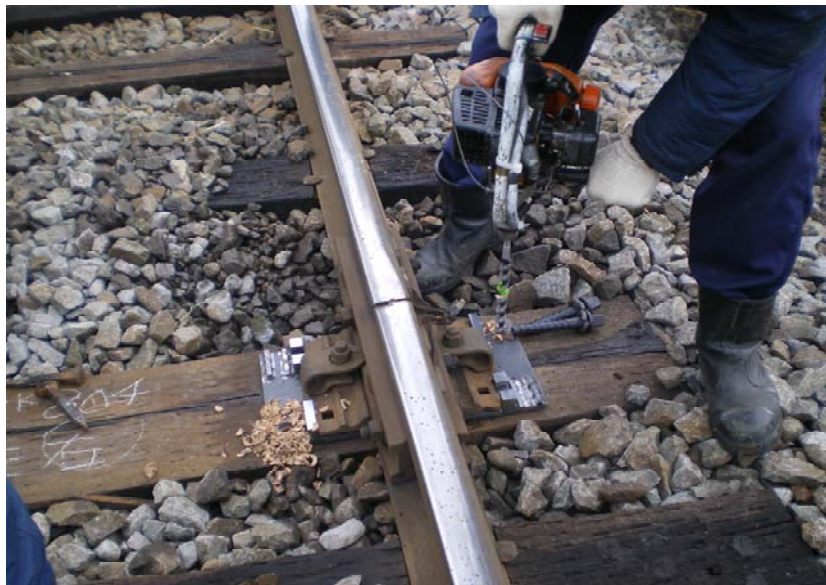
11. 対策タイプレートをセット。
(2)



12. ジャッキを外してレールを下げ、対策タイプレートセット完了。
この時点で、レールは15mm 扛上した事になります。

設置手順

13. ねじくぎ用下穴明け。
キリ直径φ18mm(参考)



14. 下穴明け作業完了。



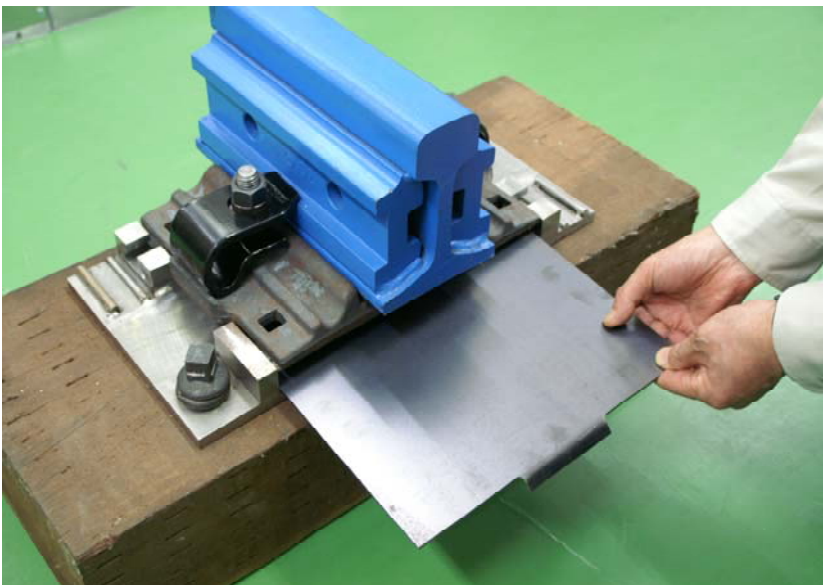
15. ねじくぎ締結。



設置手順



16. 15mm以上レールを扛上する場合は3.2mm厚の高さ調整鉄板を状況に応じて対策タイププレートの上に差し込みます。
写真は抜止機構付の調整鉄板で別途注文になります。



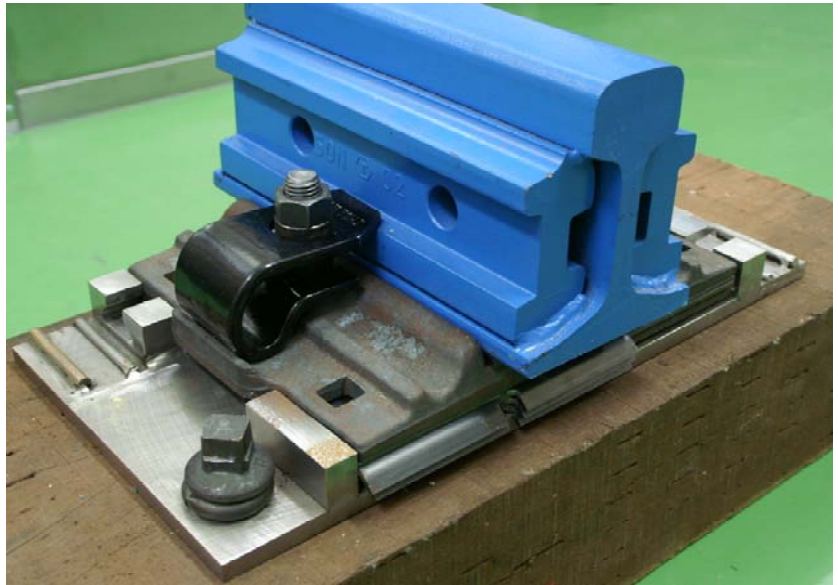
17. 高さ調整鉄板を対策タイププレートの上に1枚差し込むとレールが合計18.2mm扛上します。



18. 3.2mm鉄板は交互に重ね合わせて最大5枚まで差し込み可能ですのでこの装置に於けるレール最大扛上量は31mmになります。

設置手順

19. 高さ調整鉄板セット完了。



20. 締結ボルトをセット。



21. クリップをセット。



設置手順

22. 舟形座金をセット。



23. 平座金をセット。



24. 皿ばね座金をセット。



設置手順

25. スペースロックナットをセット。



26. ご注意

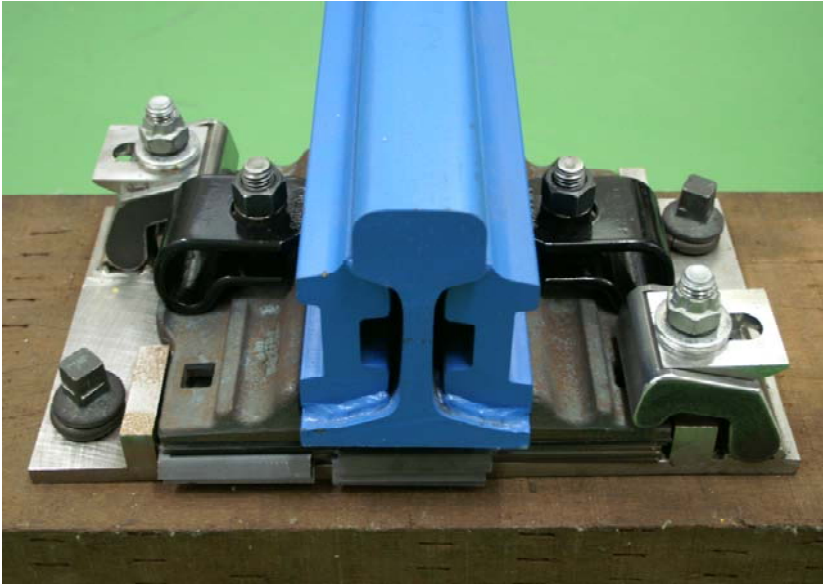
締結の際、舟形座金の上面が水平になるよう舟形座金の位置を調整してスペースロックナットを締め付けて下さい。



27. スペースロックナットを締め付けクリップを締結。
締結トルクは100N・m。



設置手順



28. 反対側も同様の手順でクリップを締結。



29. 締結完了。
(1)



30. 締結完了。
(2)

設置手順

31. 突き固め作業。

対策箇所(継目まくらぎ)以外のまくらぎは、突き固めを行って下さい。

但し、対策箇所(継目まくらぎ)は、突き固めを行わないで下さい。



 鉄道軌材工業株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座8-20-33

銀座サンケイビル 5階

TEL 03-6260-6893